

平成 27年度

島根
教弘
会報
vol.2



さだ須佐太鼓による「目田鬼面太鼓」の演奏(創立60周年記念式典)

公益財団法人 日本教育公務員弘済会島根支部
株式会社 島 根 教 弘

創立60周年記念式典を挙りました

島根支部創立60周年を記念し、記念式典・祝賀会を11月7日(土) ホテル一畑で開催しました。

当日は、島根県教育委員会教育長 藤原孝行様、(公財)日本教育公務員弘済会理事長 諏訪部善則様、(株)日教弘代表取締役 朝長芳則様、ジブラルタ生命保険(株)代表取締役社長兼CEO佐藤 恵様をはじめ、多数の皆様にご出席いただき、盛大に本支部創立60周年を祝うことができました。

以下に、当日の西 智文 支部長の式辞、藤原孝行 県教育長様の祝辞を掲載します。



式 辞



西 支部長の式辞

公益財団法人 日本教育公務員弘済会島根支部
支 部 長 西 智 文

公益財団法人日本教育公務員弘済会島根支部の創立60周年を記念して、ここに式典を挙りましたところ、公私共にご多用の折にもかかわらず、島根県教育委員会教育長藤原孝行様、日本教育公務員弘済会理事長諏訪部善則様、株式会社日教弘代表取締役朝長芳則様、ジブラルタ生命保険株式会社社長佐藤 恵様を始め、多数の皆様方にご臨席をいただき厚くお礼を申し上げます。

さて、本支部は、戦後復興の中にあって、教職員自ら相互扶助の精神に基づく共済制度を創出し、生活の安定を図って教育活動に専念したいとの願いから、昭和31年1月に創立

いたしました。以来60年間、幾多の困難を乗り越えて今日の組織を確立すると共に事業の拡充を図ってまいりました。こうして今日の日を迎えることが出来たのも、日本教育公務員弘済会、県内の現職会員・友の会会員の皆様を始め、多くの教育関係者の方々のご理解・ご支援の賜物であります。また、提携会社でありますジブラルタ生命保険株式会社及び東京海上日動火災保険株式会社の皆様方の力強いご協力のおかげでもあります。皆様方に心から感謝を申し上げます。

創立50周年を迎えた後、この10年間にも、乗り越えるべき多くの課題が山積し、その一つ一つに対して識見豊かな諸先輩が英知を絞り汗を流して展望を開かれたことにより、今の島根支部があります。

10年前は、平成12年の旧協栄生命保険株式会社の破たんから5年経ったところでありました。当時の松本幹彦理事長とその後を引き継がれた藤木敦理事長の卓越した指導力と役職員の方々の献身的なご努力により、新たな提携会社であるジブラルタ生命保険株式会社の協力を得て本支部を再建され、教育関係者の福祉向上と島根の教育振興に一層寄与すべく活動の充実に力が注がれた時期であります。

間もなく、平成18年には公益法人制度改革関連三法が公布されたことにより、日本教育公務員弘済会は、公益法人を選ぶのか、一般法人へ移行するのか、その選択を迫られる大きな課題が生じました。大いなる議論の後に公益法人としての道を選ぶことが機関決定され、その組織整備の一貫として日教弘本部と全国各都道府県教育公務員弘済会とが合併することとなりました。これにより、平成22年4月1日、島根県教育公務員弘済会は実に55年に及ぶ永い歴史に幕を下ろし、日本教育公務員弘済会島根支部として引き続き活動を行うこととなりました。

そして、平成24年4月1日、日教弘は内閣府より認可を受け、公益財団法人日本教育公務員弘済会鳥根支部として新たな出発をしました。これを機会に、創立以来力を注いできた会員の福祉向上を図るとともに、鳥根の子供たちのために教育振興事業を一層充実すべく、高等学校等生徒への奨学金給付事業や、子供たちの活動を直接支援する学校教育活動助成事業を始めとする新たな事業を創設し、年々その拡充に努めて今日に至りました。

一方、この10年の間に、3名の先輩理事長・支部長を失いました。鳥根県教育公務員弘済会創立間もなくから、永きにわたり理事長を務め県財団の盤石の基礎を作られました大谷久満元理事長、また、旧協栄生命保険株式会社が更生手続きを申請するという本支部未曾有の危機にあって、当時の松本幹彦理事長と共に本支部再建にご尽瘁された藤木敦元理事長、更には、日教弘本部との合併に伴う鳥根県教育公務員弘済会の解散、公益法人としての新たな鳥根支部の組織作りに卓越した力を発揮された間田浩彬前支部長であります。本日の記念すべき式典に当たり、本支部を築きあげられました3名の方々に、改めて深甚なる感謝を申し上げ、心からご冥福をお祈り申し上げます。

公益法人の使命は、「民による公益の増進」に寄与し社会貢献を図ることです。本支部は、この使命を果たすべく、これから向かう新たな時代を展望しながら、鳥根の子供たちをはじめ教育関係者に真に役立つ公益法人として引き続き事業の改善・拡充に取り組み、一層の飛躍を図る決意であります。

記念すべき日にあたり、お世話になっております関係の皆様方に改めてお礼を申し上げ、今後、更なるご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。



祝 辞



藤原教育長の祝辞

鳥根県教育委員会

教育長 藤原孝行

このたび、公益財団法人日本教育公務員弘済会鳥根支部が創立60周年という記念すべき年を迎えられるにあたり、輝かしい歴史を記した記念誌を刊行されますことを心からお祝い申し上げます。

公益財団法人日本教育公務員弘済会鳥根支部は昭和31年に発足されて以来、奨学資金貸与等の教育振興事業や教育関係者を対象とした福祉事業など様々な事業を展開され、本県の教育に多大な貢献を果たしてこられました。歴代の役員の皆様並びに会員の皆様のごこれまでのご尽力に対し、心から敬意を表する次第であります。

さて、全国的に少子高齢化が進む中、人口減少問題に対応し、活力ある地域をつくる地方創生に向け、鳥根県においても少子化対策や雇用の場の創出など、様々な取り組みが進められていま

す。このような中、教育委員会といたしましても、明日の鳥根を担う人材を育成することが重要であると考えており、昨年7月に策定した「第2期しまね教育ビジョン21」に掲げられた基本理念「鳥根を愛し、世界を志す、心豊かなひとづくり」に基づき、ふるさと教育、学力育成、読書活動の推進などの施策に取り組んでいます。

公益財団法人日本教育公務員弘済会鳥根支部におかれましては、創立60周年を契機とされ、今後とも青少年の健全な育成及び教育関係者の福祉の向上により一層ご尽力いただきますとともに、今後の教育委員会の取り組みに更なるご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、公益財団法人日本教育公務員弘済会鳥根支部の今後の益々のご発展と皆様方のご健勝、ご活躍を祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

平成27年度

教育実践研究論文の審査が終了しました

昨年度からの新しい研究助成規程と要項に基づき教育実践研究論文の募集を行い、応募のあった作品を審査し研究助成を行いました。「佳作」以上の作品には助成金を、「入選」以上の作品には賞金を、「特選」以上の作品には賞状を添えて業績を称え表彰しました。

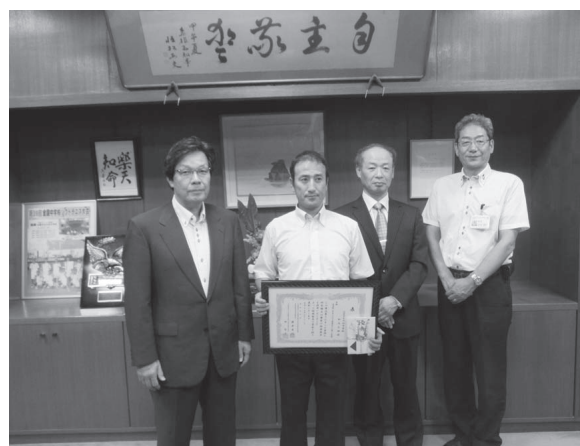
募集部門は、①学校部門（教育研究団体を含む）、②個人部門（研究グループを含む）の2部門、募集期間は平成27年5月1日から5月31日としました。昨年度は募集期間の変更の影響もあり26編の応募でしたが、今年度は若干増加し38編の応募でした。



優秀（学校部門）表彰 於 出雲市立湖陵小学校

作品の応募状況、研究主題、審査会（一次審査、二次審査）の審査結果や審査所感は以下の通りです。

なお、「優秀」と「特選」に選ばれた作品は、『島根の教育研究と実践』として、平成28年1月に発行し、各園・学校及び教育機関に配布することになっています。また、併せて学校部門2編、個人部門1編を日教弘教育賞へ推薦しました。



優秀（個人部門）表彰 松尾匡樹 教諭
於 出雲市立大社中学校

1. 平成27年度応募状況

(1) 部門別

学校部門(教育研究団体を含む)	28編
個人部門(研究グループを含む)	10編 (内無評価1)

(2) 教科・領域別

教科 (13)	国語、社会、算数・数学、理科、体育、外国語
	5 1 3 1 2 1
領域等 (24)	道徳、総合、特活、学習指導、特別支援教育、人権・同和教育、図書館教育、幼稚園教育、健康教育、キャリア教育
	3 1 3 4 2 1 4 3 1 2

(3) 地域・校種別

	松江	安来	雲南	仁多	飯石	出雲	大田	江津	邑智	浜田	益田	鹿足	島後	島前	計
幼	1					2									3
小	1	3		3	1	5	5		1	2	1	1			23
中			2			2			2			3			9
高	1														1
特									1						1
計	3	3	2	3	1	9	5	0	4	2	1	4	0	0	37

2. 平成27年度教育実践研究論文一覧

【学校部門(教育研究団体を含む)】

支部名	学校名・申請代表者氏名	教科領域等	研究主題等	評価
大田	大田市立五十猛小 原田 奈保子 (10名)	国語	情報を活用し、自分の考えを深める子どもの育成 ～単元を貫く言語活動を位置づけた国語科の授業を中心として～	
大田	大田市立朝波小 菅本 至洋 (15名)	国語	確かに学び、自分の思いを豊かに表現する児童の育成 ～表現力を育成する学習指導の工夫～	
大田	大田市立志学小 岩谷 律子 (6名)	国語	確かで、豊かな言葉の使い手を育てる ～国語の学習をとおして～	
邑智	邑南町立市木小 中野 寿晴 (8名)	国語	自分の考えや思いをもち、生き生きと表現できる子どもの育成 ～「読むこと」における学び合いを通して～	特選
益田	益田市立吉田小 内田 誠 (36名)	国語	伝え合いを通して読み深める国語学習の創造 ○「単元を貫く言語活動」に焦点を当てて ○叙述から意味を創造し、豊かに表現する子どもを目ざして	
安来	安来市立島田小 荒金 修 (15名)	算数	子どもたちが主体的に取り組む算数科の授業	
飯石	飯南町立赤名小 西村 孝司 (19名)	算数	自ら学び、思いを表現し、自分の力を伸ばしていく児童の育成 ～算数科の学習を通して～	
出雲	出雲市立湖陵小 板垣 靖 (34名)	理科	自分の考えを豊かに表現し、互いに高め合う子どもの育成 ～科学的な思考力・表現力を育てる理科学習を通して～	優秀
仁多	奥出雲町立亀嵩小 安部 茂寿 (10名)	体育	ふるさとを愛し、進んで楽しく運動に取り組むかめっ子の育成 ～体力向上推進モデル校の取組を通して～	
出雲	出雲市立塩津小 寺井 進 (13名)	道徳	自他を大切にし、共に学び合い、進んで問題を解決しようとする実践力のある子どもの育成 ～一人一人の自尊感情を高めるための道徳の学習のあり方～	
鹿足	吉賀町立六日市小 岡本 昌浩 (15名)	道徳	思いやりの心をもち、協力し合うことのできる児童の育成 (2年次) ～自己肯定感を育てる連携活動を通して～	
鹿足	吉賀町立六日市中 河野 洋司 (11名)	道徳	自己有用感を高め、共感する心や集団の一員としての自覚を育てる道徳教育の実践 ～異年齢間の交流を核とした体験活動を通して～	
安来	安来市立赤江小 福島 浩 (24名)	特活	よりよい自分や集団を目指して、互いの思いを生き生きと伝え合う子どもの育成	特選
仁多	奥出雲町立三沢小 持田 健司 (9名)	特活	互いの考えを生かし、よりよい集団生活を創り上げようとする児童の育成 ～学級活動における話し合い活動の実践を通して～	
松江	松江市立大谷小 野津 陽子 (10名)	学習指導	仲間とかかわり合い、多様な考え方を認め高め合う子どもの育成	
雲南	雲南市立吉田中 勝部 由紀夫 (17名)	学習指導	自ら粘り強く学び、互いに認め合う生徒の育成 ～基礎的・基本的な知識・技能の一層の習得と表現力を高めるための活動を通して～	
邑智	美郷町立邑智中 錦織 健一郎 (18名)	学習指導	主体的に学ぶ意欲や確かな学力の育成に向けて ～家庭学習の習慣化と授業改善を通して～	
邑智	邑南町立羽須美中 飯島 仁 (13名)	学習指導	ひとと繋がり、地域と繋がり、未来へ繋がる“ふるさと教育”の推進 ～邑南町災害復興支援コンサートを通して～	
出雲	出雲市立鱒淵小 黒田 誠 (12名)	人権・同和教育	豊かなかかわりの中で、学び合い、高め合う子どもの育成 ～人権・同和教育に視点をあてた教育活動の展開を通して～	
安来	安来市立赤屋小 赤木 寛子 (12名)	図書館教育	かかわり合い、高め合い、共に伸びようとする子どもの育成 ～図書館活用教育を通して～	

支部名	学校名・申請代表者氏名	教科領域等	研究主題等	評価
大田	大田市立北三瓶小 中村 佐恵子 (6名)	図書館教育	自ら考え共に生きようとする児童の育成 ～学校図書館を活用した学び合いを通して～	
浜田	浜田市立三階小 佐堂 潔 (27名)	図書館教育	主体的に学ぶ力の育成 ～学校図書館の活用を通して～	
松江	松江市立大庭幼 塩田 律子 (5名)	幼稚園教育	「はは菌の笑顔」で取り組む健康な心と体の育成 ～家庭や地域と手を取り合って～	特選
出雲	出雲市立西野幼 石飛 美香 (3名)	幼稚園教育	自ら環境にかかわり、生き生きと生活を楽しむ幼児の育成 ～遊びがより楽しくなっていくための環境の構成と援助を探る～	
出雲	出雲市立出東幼 石原 順 (4名)	幼稚園教育	体を動かすことを楽しみ、考えたり試したりしながら、生き生きと生活する幼児の育成	
雲南	雲南市立大東中 土江 志朗 (36名)	健康教育	家庭・地域とともに健康な心身をはぐくむ安心・安全な学校づくりをめざして ～メディアと「食」、いじめ防止対策等によるリスクマネジメントの構築～	
鹿足	吉賀町立吉賀中 大橋 大 (16名)	キャリア教育	自ら学ぶ意欲をもち、課題に取り組む生徒の育成 ～キャリア教育の推進と家庭学習の充実を基盤に据えて～	
邑智	県立石見養護学校 道下 利治 (49名)	キャリア教育	自分から行動し、自分らしく生きる児童生徒を目指した実践の在り方について ～高等部の作業学習における一人一人のキャリア発達の支援を通して～	特選

【個人部門（研究グループを含む）】

支部名	学校名・申請者氏名	教科領域等	研究主題等	評価
鹿足	吉賀町立六日市中 山本 悦生	社会	地域教材を取り入れた歴史学習の試み ～益田氏の姿を通して中世の時代像をとらえる～	特選
出雲	出雲市立西野小 中尾 篤志	算数	算数科において全ての子どもに確かな基礎学力を定着させるための一考察 ～高学年における基本計算習熟のための試み～	
出雲	出雲市立大社中 松尾 匡樹	体育	中学校1年生における体育向上に関する実践 ～スポーツテストを活用した授業改善の取組とその効果について～	優秀
松江	県立松江東高 FACEBOOKグループCEE 緒方 孝 (7名)	外国語	SNSを活用した教科指導に関わる情報シェア ～キョリ、ステータスを超えてつながろう、もっと広く知ろう～	
出雲	出雲市立佐香小 吉廣 恭由子	総合学習	ふるさとを語る子どもたちを ～情報発信型ふるさと学習の可能性を感じて～	
大田	大田市立川合小 竹下 樹	特活	命の大切さを実感するがん教育をめざして ～学校、保健所、がん経験者がそれぞれの特性を生かしながら連携して～	
仁多	奥出雲町立布勢小 長谷川 恵美子	特別支援教育	A児とともに ～2年間の取組～	
出雲	出雲市立斐川西中 山岡 晴夫	特別支援教育	中学校区の地域に根ざした職場見学を通して ～直接見て、触れて、質問する中で学ぶ職業観～	
浜田	浜田市立岡見小 勝手 博美	図書館教育	主体的に学ぶ力の育成 ～学校図書館の活用を通して～	

3. 審査結果 [評価段階別一覧表]

部門・評価	優 秀	特 選	入 選	佳 作	無評価	合 計
学校部門	1	4	19	4	0	28
個人部門	1	1	6	1	1	10

<参考> 平成27年度の助成金及び賞金の額

		助 成 金		賞 金		
		優秀～佳作	優 秀	特 選	入 選	佳 作
学 校 (団体)	21人以上	7万円	5万円	3万円	1万円	0
	11～20人	6万円	5万円	3万円	1万円	0
	6～10人	5万円	5万円	3万円	1万円	0
	5人以下	3万円	5万円	3万円	1万円	0
個 人 (グループ)	6人以上	5万円	5万円	3万円	1万円	0
	5人以下	3万円	5万円	3万円	1万円	0
	1人	1万円	5万円	3万円	1万円	0

(注)この額は、毎年度幹事会において決定されます。

4. 審査委員 (敬称略)

(1) 一次審査委員

審査委員長	梶 谷 光 弘	前出雲市立斐川西中学校長
審査委員	伊 藤 真知子	前松江市立幼保園のぎ園長
〃	石 原 順	前出雲市立中部小学校長
〃	大 向 謙 二	前島根県立浜田養護学校長
〃	藤 村 八 郎	前出雲市立大社小学校長
〃	塩 田 律 子	前松江市立宍道小学校長
〃	驛 田 省 吾	前邑南町立瑞穂中学校長
〃	岩 井 元 康	前島根県立三刀屋高等学校長



(2) 二次審査委員

審査委員長	藤 原 孝 行	島根県教育委員会教育長	
審査副委員長	小 林 邦 彦	県教育庁教育監	
審査委員	飯 庭 久美子	県国公立幼稚園・こども園長会長	(松江市立幼保園のぎ)
〃	高 橋 恒 夫	県小学校長会長	(松江市立乃木小学校)
〃	山 根 貴 史	県中学校長会長	(松江市立第一中学校)
〃	泉 雄二郎	県公立高等学校長協会長	(県立松江北高等学校)
〃	原 田 雅 史	県特別支援学校長会長	(県立出雲養護学校)
〃	多田納 育 子	県教育研究会長	(松江市立恵曇小学校)
〃	岩 本 邦 宏	(公財)日教弘島根支部幹事	(益田市立東陽中学校)
〃	福 井 昭 二	(公財)日教弘島根支部運営委員	(安来市立広瀬小学校)

5. 審査委員会の審査所感

(1) 研究に対する取組の姿勢等について

- ・募集期間が年度当初であり、研究の取組やまとめに当たって苦労があったと予想される。その中で、今日的教育課題や自分の学校の実態や課題を把握し、その改善に努める研究に取り組まれた姿勢に敬意を表したい。
- ・学校の教育課題を明確にし、多学年において実践を行い、指導上の問題点を抽出し仮説を提案したり、指導法の効果を見極めたりする研究は、他校の参考になるに取組である。
- ・仮説に基づき、指導内容や学習の様子を綿密に記録し、分かりやすい文章表現で記述された論文が多かった。その研究の成果がよく読み取れた。
- ・保護者を巻き込んだり、地域との連携や保・小・中の連携強化を図ったりした取組は、教育の一層の充実を図ろうとする日々の努力の様子が窺えた。
- ・研究仮説や研究内容に基づき、多くの実践例をあげた論文は、教職員が一体となり取り組まれた熱意が読み取れた。しかし、たくさんの実践例を述べようとすると表面的な論述になりがちであり、焦点化して記述する工夫も必用である。
- ・継続研究は、研究計画の何年目に当たるかを明確にし、前年度の成果や課題を明確にして、それに基づいて本年度の実践へつなげ、研究としてまとめることが必要である。
- ・学校部門では、多忙の中で教職員が一体となった研究が進められている。その取組に対して敬意を表したい。
- ・個人部門では、自らのテーマに基づいて課題解決に当たろうとした取組であり、個人として独力で研究に取り組む意欲と熱意が読み取れた。

(2) 研究・実践の内容・分野、方法等について

- ・平成26年度から教育実践研究論文としての募集となり、研究論文としてのまとめ方が必要となっている。論文の中には、実践記録的な記述に留まっているものがあり、自校の教育課題に基づいた研究テーマを設定し、仮説 → 実践 → 検証 という一連の過程でまとめることが必要である。
- ・特別支援教育、ICTを活用した教育、危機管理体制の充実など、今日的課題に関する取組の広がりが見え、他校の参考となる研究内容が見られた。今後、一層の研究の深まりを期待したい。
- ・実践記録的にまとめられている論文は、評価が難しい。募集要項の中でも注意を喚起する必要がある。募集部門で、「実践記録」の部門がなくなり、「教育実践研究論文」に統一されたことの周知に努めてほしい。
- ・教科研究に関する論文が少なかった。島根県では、学力向上を図ることが重要な課題となっており、教科の学習指導方法に関する研究の広がりや深まりを期待したい。
- ・高等学校や特別支援学校からの応募を期待したい。研究に取り組むことは授業改善につながることであり、指導方法の改善・充実が児童生徒の成長の支援につながる。

(3) まとめ方・記述の仕方等について

- ・研究の基盤となる子どもの実態把握の具体的な記述や変容の姿が窺えない論文がある。子どもの実態の分析や変容した様子は、教師の主観的な捉えに偏ることなく、子どもの「発言の内容」や「ノート」の記述」など、具体的、客観的なデータに基づいた分析をし、その結果を記述することが必要である。
- ・各学校の地道な取組が行われており、まとめ方も分かりやすい論文が多かった。実践の中の記述で、資料を有効に取り上げた論文があった。述べたいことの根拠として、資料を有効に活用する工夫は、他校の参考になる。
- ・文章の中で、自校でしか通用しない表現や言葉使いが見受けられる。どういう意味で使用しているのか、なぜその言葉なのかなど、読み手に分かる説明が必要である。
- ・文字数や行数等について様式が守られていない論文があった。応募に当たって、募集要項を熟読し、定められた約束を守ることは、研究論文として当然必要なことである。

(公財)日教弘島根支部は、 島根の子どもたち・教職員の皆様を応援しています。

(1) 平成27年度奨学事業の給付者・貸与者を決定しました。

平成27年度給付奨学生(高校生等対象)を募集したところ、44名の応募があり、選考の結果43名が、給付奨学生として決定されました。しかし、1名の辞退者があり42名に対し一人当たり15万円(総額630万円)の給付を行いました。



給付奨学金目録の手交

各高等学校・特別支援学校等へ本会役員が出かけ、校長先生の立会いのもと、本人・保護者に対して目録をお渡ししました。

また、平成27年度貸与奨学生(大学生等対象)を募集したところ、41名の応募があり、選考の結果41名に対し、総額3,375万円を貸与することに決定しました。

奨学生の皆さんが、いっそう学業をはじめ、各種活動に意欲的に取り組み、自分の夢をかなえられることを期待しています。

(2) 平成27年度教育研究助成事業(奨励金)、教育文化事業(助成金給付・学校教育活動助成)の助成対象を決定しました。

平成27年度教育研究助成事業(奨励金)、教育文化事業(助成金給付・学校教育活動)の募集を審査し、次のように助成することに決定しました。

平成27年度 奨励金 給付団体一覧

No.	応募団体名	研究・実践内容	給付額
1	島根県PTA連合会	第45回中国ブロックPTA研究大会 島根県出雲大会	50万円
2	中国5県高等学校教頭・副校長会 研究協議会	第29回中国5県高等学校教頭・副校長会 研究協議会	10万円
3	島根県公立小中学校教頭会	第35回中国地区公立学校教頭会 研究大会(島根大会)	50万円
4	中国地区知的障害教育研究協議会	第13回中国地区知的障害教育研究大会	10万円

平成27年度 学校教育活動助成 給付団体一覧

No.	応募団体名	研究・実践内容	給付額
1	島根県算数・数学教育研究会	しまね数リンピック	優秀賞等メダル、参加賞 (缶バッジ、クリアファイル)
			257,600円相当
2	島根県学校図書館協議会	しまね調べ学習プレゼン テーションコンテスト	優秀賞等のトロフィー、たて
			144,200円相当

平成27年度 助成金給付については、今年度は応募団体がありませんでした。

(3) 平成27年度教育文化事業（へき地学校教育支援）助成学校を決定しました。

公益財団法人日本教育公務員弘済会が平成27年度・28年度の2年間の試行事業として交通条件や自然条件等に恵まれない山間地や離島の学校の活動等を支援する「へき地学校教育支援事業」を実施することになり、本支部は平成27年度の単年度事業として募集しました。当初へき地等級3～5級の学校を対象として募集しましたが、4校のみの応募であったことから、二次（追加）募集をへき地等級2級の学校に対して行い、下記の10校に対し、1校当たり10万円（総額100万円）の助成を行うことに決定しました。この助成により、へき地学校の教育がより充実発展することを願っています。

教育文化事業（へき地学校教育支援）給付学校一覧

No.	応募学校名	実施する事業名	給付額	助成内容
1	隠岐の島町立 都万小学校	都万地区保・小・中合同運動会	10万円	ラインテープ、等級旗、大玉等の 購入費等
2	知夫村立 知夫小中学校	体力向上推進活動	10万円	スポーツタイマー、カラー石灰等 の購入費等
3	隠岐の島町立 五箇小学校	親子もちつき大会	10万円	もちつき大会に係る諸用具の購入 費等
4	海士町立 福井小学校	感性と知性を育む、俳句活動	10万円	地域講師謝礼、参考図書購入費等
5	隠岐の島町立 西郷小学校	学力向上実践研究事業	10万円	発表用ホワイトボード、プリント 教材費等
6	隠岐の島町立 中条小学校	老人会との交流活動 (公開参観日、しめ縄作り等)	10万円	講師謝金、発表用ボード、しめ縄 材料費等
7	隠岐の島町立 磯小学校	磯小まつり (学習発表、隠岐太鼓発表)	10万円	講師謝金、祭り用法被、発表会の 交通費等
8	益田市立 匹見小学校	匹見地区保・小・中 合同運動会	10万円	デコレーション用土台 (2台分)
9	邑南町立 羽須美中学校	地域・保護者・近隣の学校 との連携事業	10万円	講師謝金、「次の日祭り」笠鉦材 料費等
10	益田市立 匹見中学校	匹見地区保・小・中 合同運動会	10万円	応援陣地及び入退場門の作成費等

福祉事業も行っています

公益財団法人日本教育公務員弘済会島根支部が実施する、**教弘保険加入者に対する福祉事業**について説明します。

ここでいう「**会員**」とは教弘保険6口未満の加入者、「**正会員**」とは教弘保険6口以上の加入者をいい、(公財)日教弘の趣旨に賛同して会員になられたいわゆる「**賛同会員**」の方は含みません。

これらの福祉事業は、**事実が発生してから2年以内に申請**してください。

なお、この福祉事業の他に、(公財)日教弘本部が実施する福祉事業(賛同会員の方も含みます。)があります。

① 傷病見舞金

会員が傷病により継続して長期休暇を取得されたとき、給付規定に基づきお見舞金を給付(平成26年度は20件、23.4万円を給付)

② 災害見舞金

会員が不慮の災害で財産に著しい損害を受けられたとき、給付規定に基づきお見舞金を給付(平成26年度は該当なし)

③ 結婚祝金

正会員が結婚されたとき、**2万円**を給付(平成26年度は80件、160万円を給付)

④ 出産祝金

正会員又は配偶者が出産されたとき、**子ども1人につき1万円**を給付(平成26年度は144件、147万円を給付)

⑤ 永年健康祝金

正会員が**継続加入10年**に達せられたとき**図書カード(2千円分)**を配付(平成26年度は69件13.8万円)し、**継続加入20年**で教弘保険加入口数により**2万円又は3万円**を給付(平成26年度は125件、246万円を給付)

⑥ 満口加入祝金

教弘保険の加入口数が、**40口、70口**に達せられたとき各**1万円**、**100口**に達したとき**2万円**を給付(平成26年度は38件、38万円を給付)

⑦ 宿泊施設利用補助

正会員の**加入口数**に応じ、下表の泊数と1泊当たりの**助成金**を給付。

教弘保険、新教弘保険の加入口数	補助金額と泊数
6口以上～16口未満	2,000円で、6泊まで
16口以上～26口未満	3,000円で、6泊まで
26口以上	3,000円で、9泊まで

※県教育会館宿泊は「日教弘会員証」提示により1泊につき500円を補助
(平成26年度は「宿泊施設利用券」の発行293泊、県教育会館宿泊補助件数1,126泊)

⑧ 物故会員弔慰金

正会員が死亡されたとき、**慰霊**を行うため**3万円**を奉呈(平成26年度は15件、45万円を奉呈)

⑨ その他

正会員への記念品贈呈に加え、**新規正会員及び新規採用者の当年度加入者**に記念品を贈呈

平成27年度募集 中途加入のご案内



教職員のみなさま専用の保険

教弘 まなびや スーパープラン

教職員賠償責任保険 + 教職員総合保険

満期：平成28年8月1日
午後4時まで

補償
期間

加入依頼日の属する月の
翌月1日午前0時から
平成28年8月1日午後4時まで

団体割引・損害率
による割引あわせて

約 **32%** 割引

※保険料は補償項目ごとに端数処理を行っております
※天災危険担保部分の保険料は、団体割引25%のみ適用となります
※上記割引率は、教職員総合保険に適用となります

先生方の「安心」を、しっかり支える保険です。
業務中、日常の様々なトラブルから教職員のみなさまをお守りします。

教弘まなびやスーパープラン における事故事例

□パワハラだと
訴えられる。^{※2}

争訟費用

損害賠償金

※2 実際にはパワハラを行っ
ている場合は保険金支
払の対象となりません。
パワハラをしていない
のに訴えられた場合
が対象で、5,000万円
が支払限度となります。

□授業中に生徒がケガ、
先生個人に損害賠償請求。

損害賠償金

お見舞金



□生徒を注意したら
人格権の侵害と
訴訟を起こされる。

争訟費用

損害賠償金



こんなことが
あったら
どうしよう...

□部活動指導中に
ケガをする。

治療費



□自転車で他人に
ケガをさせる。^{※1}

損害賠償金

※1 教職員総合保険で日常生活の
賠償事故として支払対象とな
り、5,000万円が支払限度とな
ります。

主な補償は

教弘まなびやスーパープランの特徴

教職員業務中^(※1)の賠償責任について補償

(※1) 教職員総合保険では教育業務をいいます。

① 遡及補償 初年度加入日より前に行った行為に起因
する請求も補償

ただし、保険期間の初日より前に提起されていた請求および保険期間の初日において請求がな
されるおそれがある状況を被保険者が知っていた場合はお支払い対象外(教職員賠償責任保険)

② 延長補償 教職員をやめた後になされた請求につい
ても5年間補償 (教職員賠償責任保険)

※ただし、保険期間末日までに脱退された場合を除きます。

③ 初期対応費用も補償

身体障害を被った被害者への見舞金等

④ 教職員個人の争訟費用(弁護士費用等)及び損害賠償金を補償

支払限度額：対人・対物1億円^(※2)、その他の事故で5,000万円補償

(※2) 対人・対物については、教職員総合保険と教職員賠償責任保険の支払限度額を合算して表記して
います。お支払方法等について詳しくはパンフレットにてご確認ください。

保険料・保険金額の例

まなびやスーパープランMAタイプの場合

月払 1,000円

(初回のみ6,000円)

年払 15,890円

※上記保険料は8/1始期の
保険料となっております。
(職種級別：A)

死亡・後遺障害：191.7万円

入院日額*：3,000円

通院日額：1,600円

*手術保険金のお支払額は、入院保険金日額の10倍(入院
中の手術)または5倍(入院中以外の手術)となります。
傷の処置等お支払いの対象外の手術があります。

この他、上記(イラスト)の損害賠償金、争訟費用に加えて、初期対応費用、携行品損害、生徒見
舞い費用など多彩な補償があります。補償の詳細は必ずパンフレットにてご確認ください。

加入資格

公益財団法人 日本教育公務員弘済会の会員で、
以下に該当する方

1. 公立学校の教職員
2. 国立学校および私立学校の教職員
・校長先生 ・教頭先生 ・教諭・講師^(※1) ・事務職員・用務員

(※1) 養護教諭を含みます。

[ご注意] 大学の医学部、歯学部、薬学部、看護学校等の医師、歯科医師、看護師、薬剤師の
育成を目的とする学校に所属する教職員の方および、教育委員会・教育事務所
の職員の方については、加入できません。

このご案内は、「教職員賠償責任保険」「教職員総合保険」の概要について説明したものです。

保険の内容は、パンフレットをご覧ください。

詳細は団体が保有する保険約款によりますが、ご不明な点がございましたら、
代理店または引受保険会社 東京海上日動火災保険株式会社におたずねください。

ご加入に際しては、必ず「重要事項説明書」をよくお読みください。

公益財団法人 日本教育公務員弘済会

日本教育公務員弘済会

検索

www.nikkyoko.or.jp



平成27年8月作成 承認番号15-T02946

共済事業(提携保険事業)

※(公財)日教弘では半世紀にわたってジブラルタ生命と提携して共済事業(提携保険事業)を実施しています。

教職員の皆様のために 日教弘とジブラルタ生命 が提携し開発した保険

※各種事業の詳細につきましては、日教弘島根支部
又は学校担当LCまでお問い合わせください。



教弘保険

教育関係職員なら誰でも加入できる**教職員相互扶助**の精神に基づく**教職員のための「教弘保険」**です。

34歳以下の
教職員のための

ユース教弘保険

(集团契約特約付勤労保険)

35歳以上の
教職員のための

新教弘保険

(集团契約特約付勤労保険)

生涯保障

新教弘終身保険

(無配当)

(生存給付金特則付低解約返戻金型)
積立利率変動型終身保険

医療保障

新教弘医療保険α

(無配当)

医療保険(14)(保険料払込中解約返戻金型)

生涯保障 + 介護保障

新教弘介護保障付終身保険

(無配当)

(介護保障付終身保険/低解約返戻金型)

(注) 新教弘終身保険、新教弘医療保険α、新教弘介護保障付終身保険からは配当金は発生しません。

上記内容は商品の概要を説明しております。

ご契約に際しては共済事業(提携保険事業)提携保険会社ジブラルタ生命の保険設計書(契約概要)および「ご契約のしおり・約款」を必ずご覧ください。

(公財)日教弘の各種事業は教弘保険の契約者配当金を財源にしています。

(公財)日教弘の教育振興事業(奨学事業、教育研究助成事業、教育文化事業)及び福祉事業を中心とした各種事業は、共済事業(提携保険事業)として、ジブラルタ生命保険(株)との提携に基づき皆様にご案内しております教弘保険(注)の契約者配当金により運営されています。

〈教弘保険(注)の契約者配当金が財源となっている事業〉

1. 青少年の健全な育成に資するため、有益な学生・生徒に対する奨学事業
2. 教育一般の特に有益な研究に対する助成事業
3. 教育・文化の振興に対する事業
4. 教職員の皆様の潤いのある生活を目指した各種福祉事業

※ 詳しくは、日教弘ホームページ(<http://www.nikkyoko.or.jp>)をご覧ください。また、加入申込書にも「教弘保険に関する重要説明事項」として記載してあります。

(注) 教弘保険：集团契約特約付勤労保険が含まれる保険種類

おかげさまで、創立60周年を迎えることができました

本年度、公益財団法人日本教育公務員弘済会島根支部は、創立60周年を迎えました。教育関係者及び教弘保険にご加入いただいている皆様には、これまでのご支援に対し心から感謝を申し上げます。

記念事業として、次の教育文化事業（学校教育活動）を行います。児童・生徒の皆さんの教育活動や学校の環境整備等のお役にたてれば幸いです。

○島根県教育カレンダー絵画コンクールの実施及びカレンダーの贈呈 ふるさと島根のすべての教室を、島根の子どもたち絵がのったカレンダーで飾ってみませんか！



- ・幼児・児童生徒を対象とした絵画コンクールを実施し、優秀作品を掲載した島根県教育カレンダーを県内の各幼稚園・こども園、各学校、教育機関へ学級数＋αを贈呈します。
- ・県内の教育関係者等の審査員により審査します。
 - ・特選 12点…賞状・盾・副賞（図書カード）
 - ・入選 24点…賞状・副賞（図書カード）
 - ・参加賞 応募者全員
- ・『島根教弘会報』及び島根支部のHPに受賞者と、その作品を掲載します。
- ・特選の受賞者は、平成28年2月にサンラポーむらくもで表彰式を実施します。

○各学校へ記念品として木製のプランター等の贈呈 ふるさと島根の全ての幼稚園・こども園、各学校を花で飾ってみませんか！

- ・県内の各幼稚園・こども園、各学校に木製のプランター等を2個ずつ贈呈します。



（公財）日教弘島根支部は、創立60周年を新たな出発点とし、更なる発展を目指したいと考えています。今後とも、ご理解・ご協力をお願いいたします。

ご退職予定者説明会を開催します

これまで参加された皆さんから「大変役に立った。わかりやすかった。」など好評をいただいておりますが、本年度も日教弘共済事業の提携会社であるジブラルタ生命保険株式会社の協力を得て、「ご退職予定者説明会」を下記の通り開催します。この説明会では、教弘保険をはじめ各種保険の退職時でのお払込方法変更手続きのご案内に加え、これからの生活設計のお役にたてるよう、リタイアメント・ライフのためのセミナー等を実施させていただきます。

○期日・会場（いずれの会場も、開会10：00、終了12：30です。）

松江会場 12月5日（土） 松江エクセルホテル東急 浜田会場 11月29日（日） いわみーる 101研修室
出雲会場 11月28日（土） 出雲市民会館 301研修室 益田会場 12月6日（日） ジャストホール 第1研修室

島根教弘会報 平成27年度 第2号

発行日 平成27年12月10日
発行兼編集 〒690-0887 島根県松江市殿町33番地
公益財団法人 日本教育公務員弘済会島根支部
株式会社 島根教弘 TEL 0852-24-1059
責任者 西智文 FAX 0852-31-6089
TEL 0852-24-7750
印刷・製本 明和印刷株式会社